

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK7)

(函館水試担当地区)

2024年3月18日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 6.0	3/6	0	1.2	32.70	0	0	0	0	0	Ao10
		10	1.4	32.77	0	0	0	20	0	
		20	1.5	32.80	0	10	0	10	0	
		30	1.7	32.94	0	0	0	10	0	
八雲 噴火湾北西部 3.7	3/14	0	4.2	33.47	0	0	0	0	0	
		5	4.2	33.48	0	0	0	0	0	
		10	4.2	33.49	0	0	0	0	0	
		15	4.2	33.50	0	0	0	0	0	
		20	4.2	33.50	0	0	0	0	0	
		25	4.2	33.51	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 3.0	3/11	0	3.4	32.91	10	0	0	0	0	Ao10 Ao10
		10	3.1	33.04	20	10	0	0	0	
		20	3.3	33.16	30	10	0	10	0	
		30	3.5	33.26	10	0	0	0	0	
		40	3.6	33.29	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧 A. tamarense)

Ac=Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧 A. catenella)

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルウェンシカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾湾口部で出現していますが、噴火湾北西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾湾口部で出現していますが、噴火湾北西部には出現していません。

太平洋中部の3月上旬の水温は1.2～1.7℃、噴火湾北西部の3月中旬の水温は4.2～4.3℃、噴火湾湾口部の3月中旬の水温は3.1～3.6℃です。

(担当: 夏池真史・水上卓哉)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK6)

(函館水試担当地区)

2024年3月11日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 5.0	3/4	0	3.3	33.23	20	0	0	10	0	
		5	3.3	33.23	20	0	0	0	0	
		10	3.5	33.25	10	0	0	10	0	
		15	3.9	33.34	0	0	0	0	0	
		20	3.9	33.35	0	0	0	0	0	
森 噴火湾南西部 6.0	3/5	0	3.2	33.09	40	0	0	0	0	
		10	3.2	33.15	60	0	0	0	0	
		20	3.4	33.24	100	0	0	0	0	
		30	3.6	33.30	20	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 12.0	3/8	0	7.5	33.73	0	10	0	0	0	Ao10
		10	7.5	33.75	0	0	0	0	0	
		20	7.6	33.77	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧 A. tamarense)

Ac=Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧 A. catenella)

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサンドリウム オステンフェルティ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロチュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾南西部で100細胞/Lを超えて出現しています。また、噴火湾東部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部で出現していますが、噴火湾南西部、津軽海峡には出現していません。

噴火湾東部の3月上旬の水温は3.3～4.2℃、噴火湾南西部の3月上旬の水温は3.2～3.6℃、津軽海峡の3月上旬の水温は7.5～7.6℃です。

(担当:夏池真史・水上卓哉)